



# 働き続ける人になる

岐阜特別支援学校 進路だより 令和6年 2月

## 小学部の進路学習

小学部では、日常生活において身の自立をめざして実態に応じて次のように取り組んでいます。2年生のAさんは、初め苦手な食べ物を全く食べられませんでした。今ではどんな食べ物にも挑戦できるようになりました。配膳時に自分の食べられる量まで「減らしてください。」と言葉で伝え、自分の納得する量にして、食べ切っています。苦手な食べ物でも、おいしさに気付いて完食できるときもありました。Bさんは、初めは紙パンツでしたが、家庭と相談しながらトイレトレーニングを始めました。定時でトイレに行き、定時にトイレに行くことを繰り返すことで、排尿ができるようになりました。今では毎日布パンツで過ごしています。他にも自分の要求を言葉や行動で伝えられるようになったり、相手のことを考えて行動できるようになったりと、この一年を通して成長したことがたくさんありました。事業所では、まず身の自立している人を求められています。将来働き続ける人になれる、基礎を育てています。

## 中学部の進路学習



2学期にふれあいフェスタを終え、3学期は1年間の作業学習のまとめとして「まとめの販売会」を行いました。この1年間で取り組んできた製品づくりの成果発表の場として、また、この販売会後に作業学習を引退する3年生の最後の販売会として、どの作業班も張り切って販売を行いました。学年順に製品を購入する番が回ってくると、自分が作った製品を「きれいだね。」と学年の仲間に褒められて嬉しそうにしている姿がたくさん見られ、この一年間の作業学習での頑張りを認め合う場となりました。

## 高等部の進路学習（普通コース・工業コース共通）

1月には高等部販売会を行いました。11月のふれあいフェスタでは、自分たちが作った製品を販売する体験をとおして、お客様が手に取ってくれたり、買ってくれたりする喜びを味わうことができました。今回は、製品を自ら選び、買い物を楽しむ学習ができました。

3学期、3年生は卒業後の就労に向け、作業学習等で働き続ける力に磨きをかけ、1・2年生は来年度の就業体験に向けて、情報収集や働くために必要な力を付ける学習に励んでいます。その一環として、1年生（普通コース）は2月に今年度2回目の事業所見学に出かけました。自分に合った進路先を選ぶ参考にするため、希望に合わせて就労継続支援B型事業所と一般企業、A型事業所と分かれて見学をしました。また、工業コースを中心に来年度のデュアルシステムの参加に向けて働くことについての学習を進めています。